

第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会会長候補
所信

山田 祐一郎
秋田大学大学院医学系研究科
内分泌・代謝・老年内科学

日本糖尿病学会が設立され 60 年が経過しようとしています。糖尿病およびその合併症の発症・進展機序や診断、治療薬の開発と適切な使用、患者教育など多くの課題に対して、諸先生方が異なる学問領域を積極的に取り入れながら取り組まれることによって、糖尿病学は飛躍的に発展してまいりました。しかしながら、糖尿病の克服を得るだけの学問の進歩は未だ十分ではありません。私は、インクレチンの基礎研究やその臨床への展開、膵島移植の実践などを通じ、糖尿病の根治には何が必要かを考え活動を進めてまいりました。もし、節目となる第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会のお世話をさせていただけることになりましたら、学会員の先生方が日々の成果の発表や情報交換の場をより充実させるとともに、様々な領域横断的なシンポジウム等を設定することにより、糖尿病克服に向けた『新たな糖尿病学の誕生』の場を提供できればと考えています。諸先生方の温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。